

【附編】 登録前後の取組

1 世界遺産委員会パブリックビューイングの開催

2024（令和6）年7月27日（土）、インド・ニューデリーで開催された第46回ユネスコ世界遺産委員会の様子を見守るパブリックビューイングを、新潟（新潟日報メディアシップ）、佐渡（きらりうむ佐渡・佐渡市役所）、首都圏（東京新潟県人会館）の3会場で開催した。

世界遺産登録後のスピーチでは、長年「佐渡島の金山」の世界遺産登録に取り組んできた民間団体である「一般社団法人 佐渡を世界遺産にする会」の中野洸会長をはじめ、多くの関係者が登録の喜びを語った。

また、インド現地にいる花角知事・渡辺佐渡市長と日本の3会場をオンラインでつなぎ、改めて「佐渡島の金山」が持つ文化遺産としての価値や、佐渡・新潟の魅力の発信および資産の保全・活用に取り組んでいくことを確認した。



新潟会場



佐渡会場

2 県内各地の盛り上がり

2024（令和6）年6月中旬～8月中旬にかけて「佐渡島の金山」の世界遺産委員会での審議を応援し、登録決定後はお祝いしようと、多くの企業・団体様の協力を得て県内各地で「黄金色（こがねいろ）ライトアップ」を実施した。

また、同年7月31日（水）、新潟県佐渡地域振興局相川庁舎では職員による「金山」の巨大人文字を作り、登録を祝うとともに、島内外から応援いただいた多くの皆様への感謝を表現した。



新潟市：TeNY テレビ新潟



上越市：高田城三重櫓

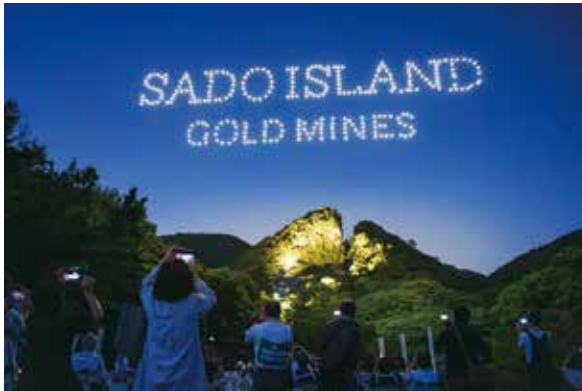


佐渡地域振興局相川庁舎人文字



3 登録祝賀記念イベント

登録を記念し、高任公園でのセレモニーを皮切りに、相川から江戸へ小判を運んだ「金の道」に関連の深い島内4地区で、リレー形式による祝賀イベントを行った。セレモニーでは、道遊の割戸をバックに鼓童の演奏が響き、「佐渡島の金山」をテーマとした壮大なドローンショーが催された。



ドローンショーの様子

4 世界遺産登録記念フォーラム「佐渡島の金山」と大阪

2024（令和6）年7月の世界文化遺産登録から半年を迎えた「佐渡島の金山」の価値を改めて紹介することに加え、佐渡・新潟・大阪の歴史的つながりを切り口に、それぞれの地域の世界遺産をはじめとする文化財の魅力を知るフォーラムを開催した。

期 日 2025（令和7）年2月8日（土）13:00～16:30

会 場 大阪歴史博物館 4階 講堂

主 催 新潟県、佐渡市

内 容 解説「佐渡島の金山」の世界遺産としての価値 澤田 敦（新潟県観光文化スポーツ部文化課 世界遺産登録推進室長）

講演①「北前船がつなぐ新潟・佐渡と大阪」 坂井 秀弥（新潟市歴史博物館みなとぴあ館長）

講演②「関西の古墳文化と新潟」 福永 伸哉（大阪大学人文学研究科教授）

パネルディスカッション テーマ「歴史と地域のつながり」



フォーラムの様子

フォーラム チラシ